源氏小鏡

三

源氏目録

第一桐壺
第二帚木
第三空蟬
第四夕顔
第五若紫
第六末摘花
第七紅葉賀

横笛の巻

宇治十帖

一 橋姫　二 椎本
三 河霧　四 [illegible]

六　[illegible]
七　[illegible]
八　[illegible]
九　[illegible]
十　長流浪[illegible]　法の師[illegible]

二十壱梅木

此巻かの日本と云事月日異なれ
ども[illegible]の[illegible]
[illegible]
[illegible]

伴ふ仕ひとあるを見て煙をむせ法師と
見て以思ひのなぐさめにこそん

女三位うた

雲花を見て消やしぬ法師と
たとひこそうきもうきもうへと

世ひとりとを女三の宮忠をつくしへと
なれうを本うたうけることの御ひ法
うちう女三の宮うを大将とうとのひしなう
なんしへ御ふ御ふ孫ともへ法思ふん事成れ
法ふくとをなく法井をものきうなな

世ふまを法ふ事と松ふ法をの世のうち
といをかふ成世ふをうをなけうつを法ふ
法とに世ふんをを法ふうあうとれうをを法ふ
世をを世の世乃松人をを法ふを世ふ
毒ふ松法ををくををはうくを法法
う法ふをを世のうれをふめをうを法文
いんのを人中行ひ毒世ふ松法世法ひなう
世ををの大納言宮をを病ふうをふ御ふ
かうう法ふうをうを大ふをくふの大納をを乃い
をををむををうを毒井乃をを八伴ををを世なう
いををうを法をを世法をを毒をくを

いかなれば[illegible]
[illegible]
如之法[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]人なりたるものこと[illegible]源氏
七の[illegible]文[illegible]先[illegible]かくこん[illegible]
と[illegible]
人[illegible]
[illegible]この[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]源氏[illegible]
文[illegible]七年[illegible]
かのもう[illegible]
乃[illegible]

加[illegible]
[illegible]
八[illegible]
あ[illegible]出[illegible]大[illegible]
[illegible]
[illegible]
の[illegible]
大[illegible]
[illegible]
[illegible]

法ふ法師ゝ者もちん者紀なのひゝあみものうちとうなく
すべき法人は思ひ初りひうかれるうもかくさう
いとけなきも初もて法師ゝ
嘉ゝ紀貫ゝ法者ゝ山ゝへの
焼ゝかゝるは生のゝ意ゝ
四ふ番
横笛法志ゝ人ゝ
むかしゝ志りし神ゝ法師ゝ
世ゝ人ゝ歌乃世人なる相ゝの笛ゝ紀ゝ思ゝて
物世ゝ大将法ゝ人ゝ者ゝ者ゝ法ゝ
法ゝ志院の法笛ゝ
ひゝ者ゝ大将ゝ所ゝ

之ゝ法ひゝ者ゝ者ゝ法ゝ法ゝ拍ゝ志ゝん
法ゝ法ゝ所ゝ法ゝ者ゝ法ゝ者ゝ
者ゝ世ゝ法ゝ法ゝ者ゝ者ゝ
笛ゝ行ゝ吹ゝ風ゝ世ゝ法ゝ
すゝのゝ紀ゝ神ゝ法ゝ
世ゝ者ゝ法ゝ法ゝ紀ゝ笛ゝ紀ゝ志ゝ法ゝ者
ゝ者ゝ大将ゝ法ゝ者ゝ法ゝ者ゝ
ゝ法ゝ法ゝ者ゝ者ゝ大ゝ者ゝ者ゝ横笛法大将
ゝ法ゝ法ゝ者ゝ者ゝ者ゝ法ゝ法ゝ
者ゝ者ゝ者ゝ者ゝ者ゝ者ゝ者ゝ者ゝ
者ゝ者ゝ者ゝ者ゝ者ゝ者ゝ者ゝ者ゝ
者ゝ者ゝ者ゝ者ゝ者ゝ者ゝ者ゝ者ゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

いまはかぎりなるもの中にすぐれて乃
ちかやふきたれハ八道法宮
ちかたなはなをたうとと知あるとと
ぬりすてあるとれ所をしれ契
者ん
ものなとを草法仏をうといとうとも
高貴すれ法契を海り女
をとうみ仏のしに親乃森なり月を面白くあり
ちかとれすれ
二十三夕暮
この歌なと云事を侍
法華ゆふ暮と云事大将法小節をとうみ法師

山里法師をとうとうの夕暮
ちかち出んとうもなれんちかあ
をとうし法人なる法師見人とを大将なを夕
きうの大将をと仏ひられ大将乃小殿のかうし
地八法一条乃をち八法をあるくの法をあふ
法をとのとあ毎をあを所乃宮あて和うん命を
人物法者に日法をひ法あ作をうく山をを
かあく乃おうれ月をあらうら人法人ることを法人うう
法を花法大将をとうあ法をを法馬を
出法ふをををうを姫ふれ小殿の面まのをうを
をこうあををれうをつをて先のかをを

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

物ものがたりしたまふ中の御門院八月十五夜はいとくもりてあるに法ひて大將殿
をはじめたてまつりて殿ばらあまたこの大きおとゝもむかしはたゞの海にて
ましけれとあまたの人をいとうたてあるかなとおもひたまへるを
かけるくもりなくはるかにもりてをかしうてあるを
うらやましくおもふ中にもいとあはれなりしかはをいとうたて
こゝろなくうちなきたまへるをいとくるしくとの
海とうちなりしかはをいとくるしくとの
世界にはかりにはかりしかはをいとくるしくとの
はるかなるうらなりしかはをいとくるしくとの

法師佛事とのなりなりしかはをいとくるしくとの
時にとりもちてなきたまふ文のたまへるをいとくるしくとの
やのせうとのたまへるをいとくるしくとの
伊勢へ法師をいとくるしくとの
ねたにしかはをいとくるしくとの
とうちなりしかはをいとくるしくとの
うしのうしをいとくるしくとの
ものをいとくるしくとの
ものをいとくるしくとの
もの

出行をしたまへるに、[illegible]
なこりをしのびかねなんとおもひてまゐ
りたまへるを、[illegible]
あるべきにはあらねど、[illegible]
[illegible]
世につたへ侍るべきことなどもかきつゞけ
侍りけるなかに、[illegible]

かきつけ侍りける歌人のもとにつかはしける

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

又[illegible]

[illegible]

源氏志のひく思ひ給へらるるものかな

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

かぐやひめ昇天

七夕

七夕あふ瀬をやのこれるあらんと

ひこ星の後朝庭うらに

とうとやまを行ふくて八月十五日の出一めうの

なれを上下仏をあつてあく雑くのきん者をと

紀なをもをもうとを結参たく者月を行ふ

中将法師

ふるこうの伝源ををもなを紀物絵

かぐやひめ物語をいとうん

中将乃をを法師の紀をを出給て

者魚のうちををたをうけの九月九日うを

ひををを人を菊をかうんをもをうを角をを

かを物をかををうの家ふ神参月を大を

実ををれををく行ををををふくて物をうを

うをなを見て知をを伝物ををん法師なを十一月

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

やうにもうけたまはりしかども
されどもまことの世にたいぶんをなり給ひしも
やうのことなる事なり

二十六ばかりなる

世をそむくことをなげくなんのあるなり
ありける源氏とやまとだましなるものこれあるなり

二十七ばかりなる大將殿　白ふ給ひしも

この君ばかりなる人なりしかども
やまとだましこのこころをもて
世をそむくことをなげくなり
里住みしかばこれをもてゆつ
の宮ぎんぐうしかばこれをもて
すくもあるべきにこれをもてこれ
をもてこの世にたいぶんなり
源氏なりける大將殿のもとにこの
ばかりなる人なりしかども
ばかりとなんありけるもとにも
法師にまことにて法華院なる
事をもとめ給ひしかば源氏なる
院にまことにあいてとうるはしの
法師ばかりなる法師にかくもて
ばかりとあらんをもてこの世の
ことをこのことにて去ぬ海にて
海をこえはたれかこれ
すくもあるべきにこれをもてこれ
をもてこの世にたいぶんなり
源氏なりける大將殿のもとにこの
ばかりなる人なりしかども
ばかりとなんありけるもとにも
法師にまことにて法華院なる
事をもとめ給ひしかば源氏なる
院にまことにあいてとうるはしの
法師ばかりなる法師にかくもて
ばかりとあらんをもてこの世の
ことをこのことにて去ぬ海にて
海をこえはたれかこれ

秋ちかき月花をもあくまでもあくまでもの
句ひとの所用見給へ八句の浦のほりもれあはひくらもを
おもてをくらの句ふかき所をとりけり

[illegible]源氏のれいの物語の人者
[illegible]なれハ海やけ乃ゝを
所句ハ後所ハ人者かせうなるの世ハ出給ひて
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]句ふかき事ハ[illegible]
所用ハ[illegible]
[illegible]句ふかなる所

所河ハ[illegible]
[illegible]紀行所ハ[illegible]一番[illegible]
所句紀行[illegible]
[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

いふ事字治に有る紀の内侍の家八橋殿乃
門の八重の花源氏うつせみ法花院にて
経のとり無量院にて法華経あり紀の内侍
殿と源氏の八の宮とはなれて住給ふ
もやなるものくるまにて乃ち
なりやの門ちかき所にて源氏
おりて けるに八宮乃
門家にて すゐせんぶし八条乃
門家にて 板八條にて 北北すゐ
むかひにて 字治に山里に住給ふ
う望すゐ 哲給ふ
なりとて すき給ふ

とも事うり給ふ人ありて 松にて なくなりぬ
あり是給ふ大くて 此ハ為 ゆゑ
程 ゆる大 物なり
なり 紀の内侍
ちかもあり 紀の内侍
山姫 大臣乃 ゆゑ
いとうの 源氏
ゆる 字治
ゆる 明乃
月 ゆく
ゆすること ゆる大 中

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

山かをれまるを[illegible]弁

高こう思へ[illegible]事

はると　[illegible]

[illegible]の弁人

[illegible]の[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

二推りか

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

以ゆ海紀のなりけるにはむ生命死
おもひ所ゆゑにとあるをもかん
とふ歌乃枝くなりけるこゝろ
高津一条とうの御所の姫君ちいとなん侍ふ
海ゐと申くゝ人むとてうせ給へくらうん
西ゆあ給ふ年
昭和とかくを侍ふ源氏王乃系
高紀物語いとむをもん
世の侍ひ高津井之御津てう侍へなりけれいとう
とは君をもあ侍ふ海くの御所かもあ給ふこと
姫くゝ御あてう生命ゆるゝ時ゝのゝ夏のをこゆる

自殿うなりうゝ侍へこゝ乃ゝこて歌所すくて侍へ
参海ゐ中津君と一とて侍へ神侍へあとこの年北
ゆれたなくゝ参海つ夏をうゝ侍へ申てあ給ふ
とまり侍ふ中のゝこゝろ山をうたれをも侍へ
侍と奥州ゝかゆうめをなあとるくかゝうゝ生命
ゝゝ侍ふ西海ふ参部ゆのゝ玉ゆ中津君てあひ
て乃ちゆ北二条院の小ゝ北侍ひ海
ゆゝ高なゝ海ゝ北ゝゝ高ゝ侍へ
生命高ゝ以侍ゆ西ゆ高ゝ侍ゆ
侍ゝ海ゝ海ゝ海ゝ海ゝ海ゝ海ゝ
西に思ひ年ゝ侍ふ高なれをかゝくゝを山海と

いと哀なりあるふてさらに物語する人あるにもあらず
淀殿せうとの秀頼公の母ぎみ世の姫君ハうせ
思ひ出給ふ事なりといふ句ハ霜枯の細く見えのこりたる
色ばかりなるもなつかしきものなるを枯れ
ぬ草ばかりなるもなつかしきものなるを枯れ
ぬ草ばかりなるもなつかしきものなるを枯れ
ぬ草

[illegible]

大和國[illegible]郡[illegible]

[illegible]

[illegible]

中の[illegible]乃[illegible]と[illegible]
[illegible]れ[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

世乃法師高り

翁丸ハ〳〵世をあ〳〵と菊の花世

のこり法い法ハとあ野ハとハ不

と行ちまくむおとこう法ふくて恵ゑく来り法

こう法ハやすれとも波さのせ法花乃ちう世藤法

かう毒花の色ん〳〵のひく陸てとの夜乃第

毒の色ちんのこと法傳〳〵第式大將姫第ちなり

六日ハ陸

渋巻とハ月ハとゑ中ハ法法ハ

ちく毒ハ色むちゑ色第式あ月まハの

ハまりかやふるあ世ゑ法ふ

世不親乃世〳〵なう是ちは毒の小法ちう法ゑ世法ハ世

法ハちう〳〵姫毒とちくさうんの世ちう毒うと云人とす毒

むおうちんハやち〳〵世ちう〳〵と是式ハちと乃ちう毒法世

法ハちう法毒て法ハ毒ちう式ちとおひて陸ん〳〵の

姫ちゑ〳〵て毒ハ法ちう法ハて宮乃

小乃ちう法ハとちく〳〵法ハ毒ハ法ハ小乃ちう

ハハハの〳〵毒ハ毒ハ法世加法ちひ毒とうくいちう

法ハ〳〵法ハ光のとハの毒ハくハ毒〳〵あ〳〵しさ

小い毒世ハちゑ毒ハとかく〳〵と法ハとて大將反宮法〳〵

ちう〳〵てとの弁法ハの毒とうハ陸ちひ毒我とうの宗

法世ハ毒〳〵ハ法ハ〳〵ちうとハ乃井人ハ東て毒ハて法ハ毒ちう

[illegible]

[illegible]

七 酒舟

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

右京と云女さう出くしたる[illegible]
[illegible]大将のおもてをうつこと[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

すてる　五　陣中

河内なる　あべ藤風

見こゝろ字治川なる　ふもと付へ　北の地名

ゆゑ大将　ゆゑ　ゆゑ　ゆゑ　ゆゑ

志賀りて　ゆゑ　大将　ゆゑ　ゆゑ

ゆゑ　ゆゑ　ゆゑ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

八幡宮

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

九年冬

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

清和天皇の源氏の名あり〳〵の家花さきの
はなれさこんもこゝあり世まなびてくれるこゝろを云る
とさへいたれ法華経をかたり侍らるをかたり侍
こゝろ世をこゝろ世をこゝろ世をこゝろ世をこゝろ世
かゝる文をうつしてこゝろ世をこゝろ世をこゝろ世
こゝろ世をこゝろ世を

こうもうをうて凡人界に生ずる事法へんをいとをれ法
て大海のそこにたちのぼるとはぬくうをまうけうて
と仏ぞうの功くるを八こんのあれうれるまへ〳〵いま
うは世ゝの功をまるをそこうれ法ゝてうちのこれう
界のうはうを大乗法花をはをうれくあひうくのさ
つをうくをすひうくをまるをまるはれをまを法をの
てをつみをちつけうもをいを法のいをなをを界をへん
乃世をを八日ををなををうもをすをうをを仏ををはれぬうれを
ををもうををををををを法をを八をを仏をを乗をうをををを
小ををんをんの功をふをうをををのいをを仏ををををんををうむ井
乃をを仏をを功をををををんをを川のをうをんをを功ををすをを

なうををををををををををををををををををををををををををををををををををを
功ををををををを川をををををををををををををををををををををををををををを
山を法をを乗ををををををを川をををををををををををををををををををををを
はををををををををををををををををををををををををををををををををををを
ををんををををををををををををををををををををををををををををををををを
をををををををををををををををををををををををををををををををををををを
をををををををををををををををををををををををををををををををををををを
をををををををををををををををををををををををををををををををををををを
をををををををををををををををををををををををををををををををををををを
をををををををををををををををををををををををををををををををををををを
をををををををををををををををををををををををををををををををををををを
をををををををををををををををををををををををををををををををををををを
をををををををををををををををををををををををををををををををををををを
をををををををををををををををををををををををををををををををををををを
をををををををををををををををををををををををををををををををををををを

なしもの